

商店街に若い感性

花巻・石鳥谷で花北青雲高生

厳選の40商品販売

花巻市石鳥谷町北寺林の花北青雲高(遠藤敏夫校長、生徒482人)のビジネス情報科1、3年生の有志13人は28日、同市石鳥谷町好地の店舗で、商品運びから販売までを自ら手掛ける「青雲チャレンジ」を初めて行った。積み重ねてきた専門知識と元気の接客で、商店街ににぎわいを生み出した。



買い物客に笑顔で商品を説明する花北青雲高の生徒

石鳥谷中央通り商店街振興会(中村弘樹会長、28店)と花巻商工会議所石鳥谷支所の「若い力を貸してほしい」との依頼がきっかけ。店舗は同振興会が運営する「小さな百貨

店ぶらっと」で、店の半分スペースに、花巻農高のジャムや盛岡商高のどら焼き、米のひつつみなどこだわりの約40商品を並べた。愛知県のご当地即席麺「キリンラーメン」など珍しい商品も。店の外にはヨーヨー釣りやクレープ屋台など縁日の要素を加え、楽しさも演出した。

近所の主婦目時トミさん(82)は「見たことがない商品もあり、買い物を楽しかった。元礼儀正しい接客で、元気をもらった」と喜んだ。青雲チャレンジは10月12日(午前10時)

午後2時)にも行い、金として沿岸部に売り上げの一部を義援する。